

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス開催日程

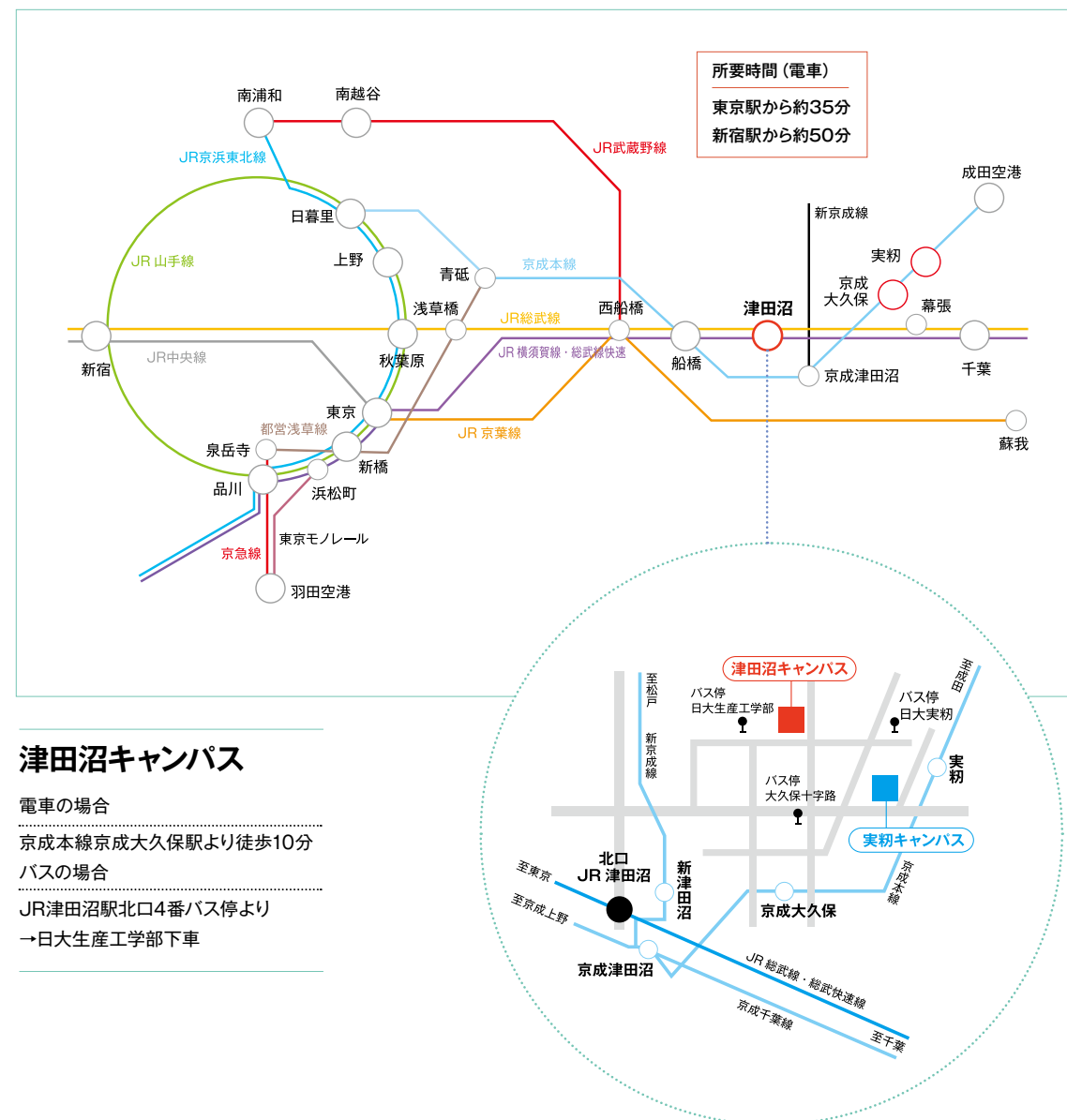
7/14
sun

8/4
sun

NIT
Open Day
3/20
thu

※上記は変更となる可能性があります。開催日時などの最新情報の詳細は生産工学部ホームページにてご確認ください。

アクセスマップ



資料請求はこちらまで！

日本大学生産工学部 入試センター

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 [津田沼キャンパス] TEL 047-474-2246 mail cit.nyusi@nihon-u.ac.jp

NIT Nihon University
Industrial
Technology



EXPERIENCE & LIBERAL ARTS

経験は人に学びを与え、学びは人を自由にする。

SIMPLE GUIDEBOOK 2025
COLLEGE OF
INDUSTRIAL
TECHNOLOGY
NIHON
UNIVERSITY

学部案内
[簡易版]



日本で唯一の生産工学部
日本大学生産工学部

70年以上の歴史を通じて、常に『社会とつながる教育』を実践。

日本大学 生産工学部とは

生産工学部は、1952年創設という長い歴史を通じて、9万人以上の卒業生を社会に送り出してきた実績を誇る、日本で唯一の生産工学部です。生産工学という学問には、モノをつくる面白さはもちろん、「モノづくりそのもの」をつくったり、「コトづくり」まで考える点に、他の工学系の学問と一線を画す大きな魅力や価値があります。そして、このような「モノ+コトづくり」においては、高い技術力だけではなく、優れたデザインや使いごち、適切なコスト、洗練された生産プロセス、さらには変化する社会への対応など、さまざまな要素に関連づけて考える実践的思考や応用力が重要となります。生産工学部は、工学に経営的な視点をプラスして、「VUCA」と言われる先の読めない時代にますます求められる、「経営がわかるエンジニア」を目指す学部です。



重要分野を網羅する9学科

	マネジメント工学科 企業、組織、ビジネスなどの仕組みやつくり方を学べます。	
	環境安全工学科 SDGs達成のための環境にやさしいグリーンテクノロジーを学べます。	
	創生デザイン学科 人々の暮らしや生活をより良い方向に変えるデザインを広い視点で学べます。	
	機械工学科 車、飛行機、電車、ロボットなどのメカニズムや設計を学び、創造していきます。	

	電気電子工学科 発電から人工知能までを広範囲に学び、システム全体を俯瞰できます。	
	土木工学科 自然災害の軽減、自然環境の保全、社会基盤の運用・維持・事業経営を学べます。	
	建築工学科 一級建築士資格取得に必要な知識や、人の居場所の構築に関連することを講義・演習・実習で学びます。	
	応用分子化学科 衣・食・住に関わる製品を創り出すための、化学の仕組みを学べます。	
	数理情報工学科 情報ネットワークやAI（人工知能）など、未来の社会に必要なテクノロジーを学べます。	

学びの特長

一人ひとりに成長をもたらす、定評ある教育システムで学べます。

実務を経験して、社会とつながる自分になる

生産実習 (長期インターンシップ)

生産実習は、国内外 800 社以上の企業や官公庁と連携し、実社会の生産現場などを舞台に行う超実践的な実習科目です。3 年生全員の必修であり、実務を通じて将来像をより明確にするとともに、社会に必要な知識、スキル、人間力を養います。正規授業科目ですから単位認定もされます。

3年生 全員が必修

3年次の夏季休暇期間中に1500名の学生全員が参加します。

実習先は 800社以上

幅広い業界の有力企業をはじめ、豊富な実習先から選べます。

取得単位に 認定

企業での実習も正規科目扱いであり、単位認定されます。

将来の可能性をひろげる専門性を身につける

4つのスペシャルプログラム + JABEE

ある領域においては誰にも負けない専門的能力を養うために、本学部ではどの学科でも履修できるスペシャルプログラムを用意しています。グローバルに活躍する人材、事業継承者、企業家、ロボット技術のエキスパート、国際基準のエンジニアなど、専門性を備えたハイレベルな人材を目指せます。

	世界中のどこでも活躍できる視野と能力を身につける モノづくりの現場のグローバル化に対応するための英語力やビジネススキルを鍛えます。		企業のロボット技術者がサポートする特別プログラム ロボット技術を学び、「触れる」「作る」「創る」手法で未来のエンジニアを育成します。With-Robot リサーチ・センターでの研究も可能です。
	エンジニアにビジネスを創り出せる確かな経営力を身につける 事業継承者や企業家志望者は、経営者マインドと実践的な手法を身につけ、社会との共存を促す経営力を身につけます。		創造的な視点を身につけたモノづくり人材を育成 STEM (科学・技術・工学・数学) + A (芸術) で創造的な視点を養う注目のプログラムです。
	国際基準の技術者を育成するプログラム JABEE (日本技術者教育認定機構) 認定プログラムの技術者教育は、技術者教育認定の世界的枠組みであるワシントン協定などの考えに準拠しており、国際的に同等であると認められます。本学部では、電気電子工学科、土木工学科、建築工学科、応用分子化学科、数理情報工学科の5学科に JABEE 認定コースが設置されています。		

社会人に必須の幅広い教養と人間力を修得

教養基盤科目

幅広い分野をカバーする 教養科目

科学、人間学、社会学、健康科学の各領域の科目や、学問領域を超えた総合的科目を設置しています。

多様な文化と価値観を知る 国際コミュニケーション科目

技術者にとっても必須の英語能力とともに、グローバルな視点から世界を考える能力を養成します。

専門への発展の土台を築く 基盤科目

科学技術の基礎となる数学、物理学、科学を中心に、専門的学修の基幹となる知識と実技を修得します。

基礎から専門への橋渡しとなる 横断科目

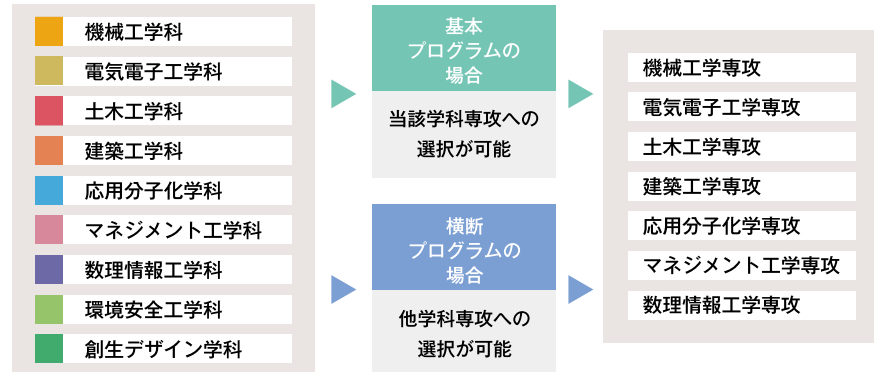
体験や実践を通して、多岐にわたる高度な専門分野に適応できる基盤を担う能力を身につけます。

未来を ひらく 研究力

企業の開発・研究職など、高度な研究能力が必要な人材を輩出。

生産工学部では、現代社会が直面するさまざまな問題の解決に挑む研究が進行中です。そしてこれらをより発展させた研究を推進するのが、81もの研究室を擁する大学院生産工学研究科です。学部で4年間、技術者としてのベースを養ったのち、基本プログラムの選択であれば当該学科の専攻へ、横断プログラムの選択であれば他学科専攻の選択が可能です。大学院でさらに高度で専門的な研究に取り組むことで、研究者としての揺るぎない基礎を固めるとともに、将来の活躍フィールドを増やすことができます。

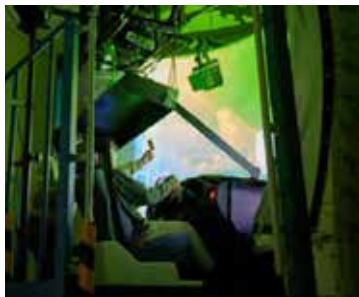
大学院生産工学研究科には専門性の高い7つの専攻があります



研究・実験を支える施設

教育機関として屈指の仕様とスケールを誇る各種の先進的施設が、学生の学習と研究を支えます。

自動車工学リサーチ・センター



自動車や交通システム全般の先進的研究や、学内外の人材育成を目的とした活動拠点です。複数の学科の学生や教員のほか、自動車メーカーや関連企業の研究者も利用する最先端設備です。

構造・振動実験室



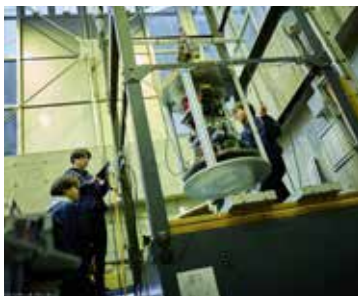
建築物の構造・耐震形式や新材料の開発・検証を行い、振動台などの地震対策研究用の特殊な装置も設置された巨大空間です。この実験室がある13号館には、水工実験室やコンクリート実験室など、土木技術を磨くための施設も置かれています。

未来工房



39号館1階の未来工房(MIRAI Studio)内には、金属加工・木材加工・陶芸ができる各種コーナーを設置しています。レーザー加工機などの充実した専門機器・設備が整っています。

ハイテク・リサーチセンター



環境保全技術の開発・確立に向けた研究など、さまざまなテーマで先端研究を推進する施設です(写真は同センター内に設置されている微小重力実験室)。

卓越した 就職力

卒業生の進路は幅広い業界に広がっており、就職率も毎年、全国の大学平均を上回っています。

就職実績

就職率
98.9%

※令和5年度卒業生の実績

就職支援プログラム

120万人を超える卒業生ネットワーク + 効果的な支援プログラムでバックアップ!

日本大学合同企業研究会・就職セミナー

日本大学の就職支援における一大イベントで、2024年は230以上の企業や行政機関が日本全国から参加しました。日本大学生限定なので、じっくりと話を聞くことができます。

生産工学部企業研究会

津田沼キャンパスにて学部独自の企業研究会を開催しています。参加企業のすべてが生産工学部の学生採用を目的に集まっているのが大きな特色で、2024年は390社の企業が参加しました。

就職対策講座

外部の専門講師を招いて、筆記試験やSPI適正検査対策、自己分析、エントリーシート作成、面接対策、業界研究など、多岐にわたる効果的な就職活動対策を行います。



就職ガイダンス

就職活動スタート時に、就職活動の流れや企業研究・自己分析の方法など、学生の不安を解消するとともにモチベーションを高める就職ガイダンスを実施しています。

NU就職ナビ(日本大学向け就職活動支援サイト)

日本大学生向けの求人情報や企業情報の検索ができるサイトで、約16万件の企業情報、約33万件の卒業生情報、約1万件の先輩たちの就職活動レポートが掲載されています。

公務員試験対策

公務員志望の学生向けには、通常のガイダンスなどに加えて公務員試験対策用のサポートを実施。試験の概要説明から試験対策まで、豊富なプログラムを用意しています。



安心の学生サポート

学習のことはもちろん、学生生活全般の不安などに応える細やかなサポートを行っています。

入学前教育プログラム

各種推薦型選抜等で早期に入学が決定した人や一般選抜での入学が決定した人を対象に、複数の入学前教育プログラムを用意しています。
※プログラムの内容は年度によって異なります。

アカデミックアドバイザー

勉強の仕方がわからない、どんな科目を履修すればいいのかわからない、など学習関連の悩みに、アカデミックアドバイザーや科目別アドバイザーが対応します。

ピアサポートシステム

4年生を中心としたピアサポーターが、教員の補助役として1年生の修学・キャリア・学生生活などをサポートします。

クラス担任

全学年を通してクラスに担任を配置し、学習上の問題や各種手続事項などさまざまな相談に応じています。

アパート・学生寮

通学に最適な大学周辺地域を中心に、アパートや学生寮の情報を提供しています。

その他

新入生学外オリエンテーション、英語学習支援、保健室・健康管理など、充実したサポートを用意しています。

独自の教育プログラム

EL CYCLE

イーエル・サイクル

日本大学生産工学部では、「EXPERIENCE(実体験)」と「LIBERAL ARTS(真の教養)」の2つを柱に、知識・技術・経験のインプットとアウトプットを繰り返す、特色ある教育プログラム「EL CYCLE」を採用しています。このサイクルをベースにした実践的・立体的なカリキュラムを通じて、さまざまな社会問題を解決するために自ら行動を起こす「人間力ある技術者」の育成を進めています。

Experience

実体験を積み重ね

EL CYCLE

真の教養を身につける

Liberal arts

学費について

知っておきたい学びの費用をご案内します。

入学金や授業料、施設設備費などのほか、理工系の大学では実習に専門的な機器を使用するため実験実習料などもかかります。詳細を下の表でご確認ください。

日本大学生産工学部の学費

(令和6年度参考)

	入学時納入全額 ＜前期＞	9月納入金額 ＜後期＞	初年度納入金 総額	4年間の 納入金総額	備 考
入学金	260,000	—	260,000	260,000	入学時のみ納入
授業料	550,000	550,000	1,100,000	4,400,000	各年次前期、後期各 55万円
実験実習料	40,000	40,000	80,000	370,000	2年次前期、後期各 4.5万円 3・4年次前期、後期各 5万円
施設設備資金	110,000	110,000	220,000	880,000	各年次前期、後期各 11万円
維持会費	30,000	—	30,000	120,000	各年次前期に 3万円
校友会会費(準会員)	10,000	—	10,000	40,000	各年次前期に 1万円
合計	1,000,000	700,000	1,700,000	6,070,000	

※上記の他、卒業年度の後期に校友会費(正会員)初年度分1万円があります。

奨学金制度

学ぶ意欲を経済面で支える、多彩な制度を整備しています。

日本大学や生産工学部独自の奨学金のほか、日本学生支援機構や地方公共団体、企業や民間の制度も利用できます。給付型奨学金は原則返還義務がない一方で、貸与型奨学金は返還義務があります。

日本大学独自(給付)

日本大学生産工学部奨学金 生産工学部独自の奨学金制度で 右の4種類があります。	第1種奨学金	学業成績、人物ともに優秀な学生に対し、年額50万円を給付します。
	第2種奨学金	優秀な資質を持ちながら経済的理由等により学業の継続が困難になった学生に対し、前期または後期に30万円を給付します。
	第3種奨学金	外国人留学生で学業、人物ともに優秀な学生に対し、年額50万円を給付します。
	校友会奨学金	経済的理由により修学が困難な学生に対し、学業の継続を目的として奨学金を前期または後期に30万円、20万円、10万円と経済的困窮度に応じて給付します。
日本大学特待生 学業成績、人物ともに優秀な学生に対し 奨学金を給付する特待生制度があります。 選考は2年生以上を対象とし、特に優秀な 学生に給付する甲種と、優秀な学生に 給付する乙種があります。	甲種特待生	授業料1年分相当額の半額と図書費12万円を給付
	乙種特待生	授業料1年分相当額の半額を給付
日本大学古田奨学金	大学院に在学中で学業成績、人物ともに優秀な学生に、年間20万円を給付します。	
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金	大学院に在学中で学業成績、人物ともに優秀な学生に、年間20万円を給付します。	
日本大学創立100周年記念奨学金	外国人留学生で学業、人物ともに優秀な学生に対し、授業料1年分相当額の半額を給付します。	
日本大学オリジナル設計奨学金	生産工学部、理工学部、工学部の学生のうち、国家公務員採用総合職試験受験志望者を対象とし、年間20万円を給付します。	
日本大学創立130周年記念奨学金	第2種奨学金	学部在学中で経済的支援を必要とし、修学意思が堅固で学業成績及び人物が優良な学生に対し、年額30万円を学費に充当します。

その他の奨学金

●日本学生支援機構奨学金【貸与(無利子／有利子)】

●日本学生支援機構奨学金【給付】

そのほか、地方公共団体(各都道府県、市町村)の奨学金や、企業その他育英団体の奨学金など数多くあります。募集にあたっては、奨学団体が直接行うものと大学の学生課を通じて行うものとがあります。募集は、主に掲示板にて行いますので、学生課の掲示に注意してください。なお、募集期間はほぼ4～5月に集中しています。

入試情報

一人ひとりに合った受験プランを立てやすい入学者選抜制度です。

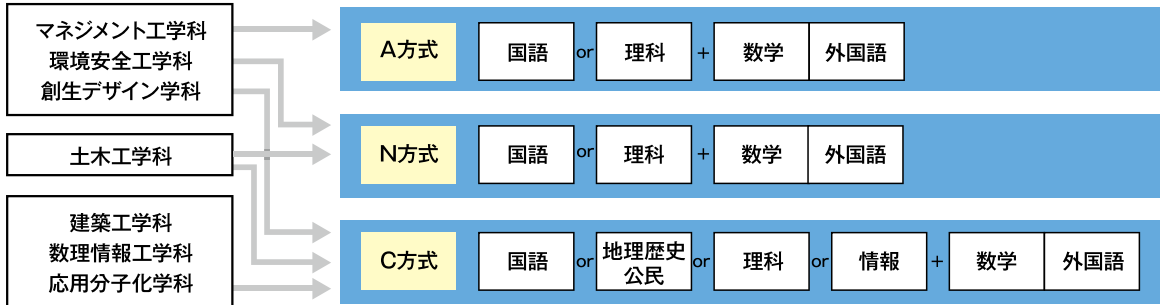
令和7年度(2025年度)の入学者選抜スケジュール

入学試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜 第1期	8月4日のオープンキャンパスで、総合型選抜第1期において出題する課題のフォローアップ企画を行います。 10月3日(木)～10月10日(木)	10月19日(土)	11月1日(金)
総合型選抜 第2期	11月25日(月)～12月3日(火)	12月8日(日)	12月16日(月)
学校推薦型選抜 指定校制	11月1日(金)～11月7日(木)	11月16日(土)	12月2日(月)
学校推薦型選抜 公募制	11月1日(金)～11月7日(木)	11月17日(日)	12月2日(月)
一般選抜 C共通テスト利用方式第1期	1月6日(月)～1月17日(金)	1月18日(土) 1月19日(日)	2月19日(水)
一般選抜 N全学統一方式第1期	1月6日(月)～1月22日(水)	2月1日(土)	2月13日(木)
一般選抜 A個別方式第1期	1月6日(月)～1月22日(水)	2月2日(日)	2月13日(木)
一般選抜 A個別方式第2期	1月6日(月)～2月4日(火)	2月13日(木)	2月21日(金)
一般選抜 N全学統一方式第2期	1月6日(月)～2月25日(火)	3月4日(火)	3月12日(水)
一般選抜 C共通テスト利用方式第2期	1月6日(月)～3月3日(月)	1月18日(土) 1月19日(日)	3月17日(月)

総合型選抜	面接重視で年内に合格発表されます。
公募制	基礎学力検査(英語・数学)+書類・面接での採点です。
C共通テスト利用方式	大学入学共通テストのみで採点。個別学力検査がなく、負担が少ない選抜方式です。
N全学統一方式	同一試験日・同一問題で複数の学部・学科を併願できます。 札幌から宮崎まで全国主要都市の試験会場で受験できます。受験スケジュールが立てやすい選抜方式です。
A個別方式	合格発表が早く、受験スケジュールが立てやすい選抜方式です。全国15会場で実施。

文系の人もチャレンジしやすい学部です！

文系からでも併願しやすい科目で受験が可能。
生産工学部の7学科で選択できます。



入学後の授業も安心です！

生産工学部では、高校までの授業の学び直しを「リメディアル教育」を通じてサポート。
文系の人でも、専門分野を学ぶのに必要な理系の基礎をしっかりと身につけられます。